

令和元年度決算審査特別委員会(特急反訳)

討論・採決【速報版】

令和2年9月10日

◎ 討論・採決

○古谷委員長 これより各会計予算について、順次討論、採決を行います。

まず初めに、議案第17号「令和元年度大阪府泉南市一般会計歳入歳出決算認定について」討論を行います。討論はございませんか。

○大森委員 認定に対して反対の立場で討論いたします。

久し振りの決算の審査になって、一昨年21号台風、コロナ禍という中で、限られた予算の中で市の職員の皆さんがいろいろ苦勞しながら、知恵を出しながら、市民生活を応援するために頑張っていたという姿はよく分かりました。

もう、そういうことが本当に分かっただけでも、今回の決算審査特別委員会は意義があるものだというふうに思います。

しかし、反対させていただきます。

その第1の理由としては、学校プールの廃止についてです。21号台風の後に学校プールが破損したと。そういうことで、これを機会にということで、全ての学校プールが廃止となったわけですが、やっぱり市の責任としては、現状に戻すということを第一にやっぱり取り組む必要があると思います。

利用者がいるわけですし、学校プールを使っている利用者、子どもたちもいるし、夏休みに一般開放で遊んでいる大人もいるわけです。まず、利用者の立場に立って現状維持をします。

それから、市のほうのいろんな財政上負担が大きいとかいう問題がありますけれども、台風を機会に、これで一気に潰してしまおうかと。潰してしまおうかという言い方はよくありませんね。もうなくしてしまおうというやり方は、やっぱりこれはもう混乱を生むばかりだというふうに思います。その後の市民プールの対応なども、できていませんしね。

先ほども言いましたように、やっぱり利用者の立場を考えて、まずは原状復帰すると。そのために府の補助金とかを活用しながらやるということが、まず第一にしなければならぬことだという

ふうに思います。

こういうことができていなかった点については認めることができませんので、反対いたします。

あと、共産党議員団の見解として、老朽校舎や給食センターの建て替え問題、それから補助金については、南ルートの期成同盟の件とか、自主環境整備補助金の問題とか、それからくみとり券のこの再発防止、真相解明の問題とか、国保、介護については、また本会議の反対討論で共産党の見解、市と違う部分については、また説明させていただきます。

以上、簡単ですが反対の討論とさせていただきます。

○古谷委員長 ほかに。

○河部委員 議案第17号、令和元年度泉南市一般会計決算について、賛成の立場で討論させていただきます。

今回の決算については、昨年決算と同様、本来であれば含まれるべき金額について含まれていないということもございます。ただ、昨日市長に対して確認させていただいた内容につきましては、詐欺罪として今回着服されている90万円余りについては、この令和2年度会計の中で一定処理をしていくと。

そしてまた、市長任期が残されている中で、しっかりと真相解明を含めて、今回の問題も含めて取り組んでいくというような答弁も含めてございましたので、その他の会計決算内容については、しっかりと事業が進められ、前進しているということも含めて、一定の評価をしておりますので、本決算については賛成をしていきたいというふうに思っています。

○古谷委員長 ほかに。———ないですね。

以上で本件に対する討論を終結いたします。

これより議案第17号を採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり認定可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○古谷委員長 起立多数でございます。よって議案第17号は、原案のとおり認定可決することに決定いたしました。

続いて、議案第18号「令和元年度大阪府泉南市

樽井地区財産区会計歳入歳出決算認定について」から議案第34号「令和元年度大阪府泉南市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算認定について」までの以上17件について一括して討論を行います。討論はございませんか。

○大森委員 国保は第何号でしたかね。国保と公共用地、第34号の反対討論。

○古谷委員長 国保は第29号です。もう1つは第何号ですか。

○大森委員 第34号です。

○古谷委員長 第34号ですね。

○大森委員 国保については、大幅値上げが提案されているということで、先ほども質疑をしましたけれども、やっぱり値上げがコロナ禍のもとで、もう本当に高過ぎて払えないという状況を生んでいると。それはもう徴収率が下がっていることも明らかです。

府の統一料金ということが前提にあるという答弁もありましたけれども、やっぱり市民の暮らしとか、コロナ禍のもとで何をすべきかというふうなことを考えれば、府の前提ではなくて、やっぱりせめて値上げはしない。もうそれ以上に負担軽減に努めるということが大事だというふうに思いますので、これについては反対いたします。詳しくは、また本会議でさせていただきます。

それからあと、同じく第34号ですけども、これについては財政難の原因であったということで、この時点での、ここまで引き延ばしてというか、この特別会計をつくるまで、ずっと金利が毎年2億円近くですかね、増えていく状態をずっと放置してきたということで、これがもう泉南市の財政難の原因になったことは、もう明らかです。

しかし、それに対するやっぱり真摯な反省とか、その財政難の原因になっただけじゃなくて、この陰で教育施設の建て替えの問題とか、退職金の積立てとか、そういうことが全くなおざりにされてきたということへの反省とか、それからまだ分析とかいうのは不十分だというふうに思います。

そういう意味で、それがちゃんとできてこそ、この土地開発公社の問題、この会計の問題が市民に説明できるというふうに思いますので、その点で不十分ということを指摘して、反対とさせても

らいます。

○古谷委員長 ほかに。———ないですね。

それでは、これよりただいま討論のありました各会計決算認定のうち、反対討論のありました議案から順次採決いたします。

まず初めに、議案第29号「令和元年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり認定可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○古谷委員長 起立多数であります。よって議案第29号は、原案のとおり認定可決することに決定いたしました。

次に、議案第34号「令和元年度大阪府泉南市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算認定について」採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり認定可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○古谷委員長 起立多数であります。よって議案第34号は、原案のとおり認定可決することに決定いたしました。

次に、ただいま採決しました2件の会計を除く議案第18号、議案第19号、議案第20号、議案第21号、議案第22号、議案第23号、議案第24号、議案第25号、議案第26号、議案第27号、議案第28号、議案第30号、議案第31号、議案第32号、議案第33号の以上15件の各会計決算について、これより一括して採決をいたします。

お諮りいたします。本15件については、いずれも原案のとおり認定可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○古谷委員長 御異議なしと認めます。よって議案第18号、議案第19号、議案第20号、議案第21号、議案第22号、議案第23号、議案第24号、議案第25号、議案第26号、議案第27号、議案第28号、議案第30号、議案第31号、議案第32号、議案第33号の以上15件の各会計決算については、いずれも原案のとおり認定可決しました。

以上で本特別委員会に付託を受けました令和元

年度泉南市各会計決算18件については審査を終結いたします。

連日にわたり、慎重なる御審査をいただきまして、誠にありがとうございました。

なお、本会議における委員長の報告につきましては、私に一任をいただきますようお願いいたします。

これをもちまして、令和元年度決算審査特別委員会を閉会いたします。

皆さん、お疲れさまでした。

午前10時50分 閉会

(了)

委員長署名

令和元年度決算審査特別委員会委員長

古 谷 公 俊